



河越 安実治 議員

防犯対策について

特殊詐欺の被害から高齢者を守る

ネットワーカーづくりの取り組みは。

**答** 既存の体制やネットワークを活用することを基本に、防犯面での見守り体制の構築について検討します。

**問** 昨今の凶悪な事件で犯人逮捕に活躍したのが防犯カメラですが、高島市内の防犯カメラの設置状況は。

**答** 市民生活部長

市が設置していません防犯カメラは、不特定多数の方が利用される場所での安全確保や犯罪防止を目的に、市内のJR6駅の構内や駐輪場に合計31基を設置しており、プライバシーに配慮しながら適正に運用しています。市内には、この他にも店舗や事業所などに相当数のカメラが設置されているものと考えますが、どこ



に何台が設置されているかという情報そのものが重要な防犯情報でもあり、市がその情報収集をすることは難しく、全容を把握するには至っていません。

**問** 防犯カメラや特殊詐欺退避装置にかかる補助制度について。

**答** 市民生活部長

自治会等が設置される防犯カメラについては、関心の高い自治会は県警の貸付事業による貸付を受けたり、自主的に設置もされています。現在、各自治会にみんなで作るまちづくり交付金を交付しており、この交付金を防犯カメラの設置にもご活用いただきたいと考えており、個別の補助金制度を設けるという検討には至っていないところです。特殊詐欺退避装置については、犯罪の抑止に一定の



効果が期待できるものと考えていますが、その購入に補助金の制度を設けることが適当かどうかについては、今後、他の自治体の取り組み状況なども調査した上で様々な観点から検討していく必要があるものと考えています。

**問** 高齢者を特殊詐欺の被害から守るための見守りネットワーカーづくりの取り組みはどうか。

**答** 市民生活部長

高齢者をできるだけ多くの目で見守り、普段とは異なる変化に気づいた場合に専門の相談機関へつなぐといった見守り体制の構築は大変重要なことであると考えており、現状において様々な分野ですでに構築されている既存の体制やネットワークを活用することを基本に、防犯面での見守り体制の構築について検討していきたいと考えています。

その他の質問

●高島市の農業振興について